

分析結果Ⅱ

実践地域基盤力

藤原 宏司(山形大学 学術研究院)

実践地域基盤力に関連するデータ

■ 収集データ

1. キーコンピテンシー調査

(5因子調査; Big Five Personality Test)

- 外交性 (Extraversion)
- 協調性 (Agreeableness)
- 勤勉性 (Conscientiousness)
- 情緒安定性 (Neuroticism)
- 知的好奇心 (Openness to experience)

2. 出欠・課外活動履歴

- ICリーダー and/or ビーコンシステムによる出欠情報の収集

主要5因子性格検査のスコアと標準偏差

5因子	山形大学*		岩手大学**	
	Mean	Std. Dev.	Mean	Std. Dev.
E : 外向性	46.0	10.5	48.5	10.1
A : 協調性	52.0	8.7	51.4	9.4
C : 勤勉性	54.5	9.5	53.5	9.5
N : 情緒安定性	47.6	9.7	47.4	9.3
O : 知的好奇心	49.4	9.7	50.2	9.9

* 条件を満たす2017年度入学生 ($N = 1,691$)

** 鈴木・阿久津(2007)によって収集されたデータ(2005年, $N = 215$)

参考文献： 鈴木 光・阿久津洋巳 (2007).
岩手県人と岩手大学学生の性格特性 -Big Five の観点から-

分析方針

■ 基本的な問い

- 各5因子スコアと学業成績の間に関連性はあるのか？

■ 分析に使用する学業成績データ

- 2017年度前期におけるスタートアップセミナー(2単位)の**出席状況と成績**

■ スタートアップセミナーとは？

- 大学生として**必要な学習スキルの向上**を図ることを目的とした大学導入科目
- 基本的な学習スキル: 調査や情報収集、討論や議論、口頭発表、レポート作成の能力、etc
- 米国における「**First-Year Experience (FYE)**」と同じ
 - 効果的に**成功体験**を積ませる(失敗から学ぶ)

分析方針（つづき）

■ 山形大学におけるスタートアップセミナーの特徴

- 統一されたシラバス
 - 教材／スライドも共有
- 統一された課題
 - 採点基準も同じ
- 1クラス35人程度
 - 来年度は25人へ
- クラス編成
 - 学部、性別を
バランス良く混在

フォーマットが揃っている

■ 今回の分析

1. 各5因子 vs. スタートアップセミナーの**成績**
2. 各5因子 vs. スタートアップセミナーの**出席状況**

成績：スタートアップセミナー

■ 5段階評価：S, A, B, C or F

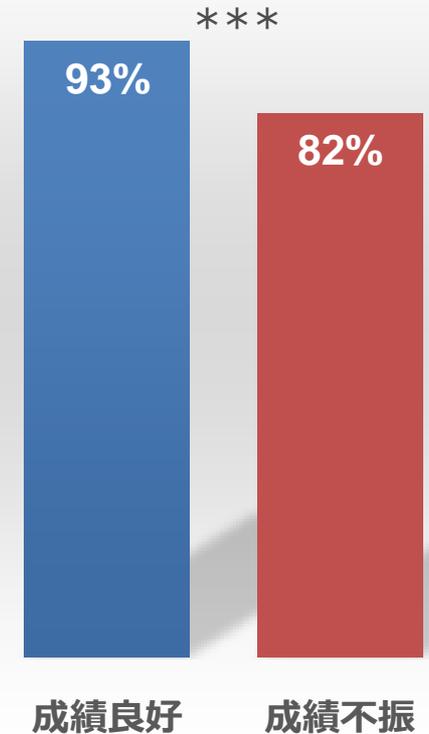
➤ スタートアップセミナーは、以下の条件を満たせば「A以上」の成績が取れるようデザインされている。

1. 課題を期限までに提出
2. 明記されている評価基準を満たす



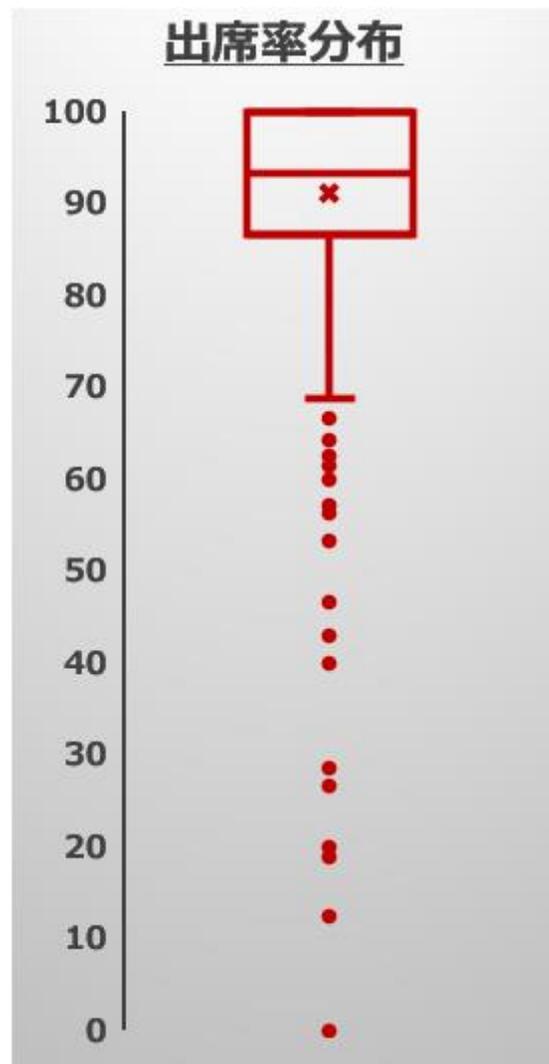
成績群	Freq.	Percent
成績良好 (S or A)	1,427	84.4
成績不振 (B, C or F)	264	15.6
Total	1,691	100.0

出席率比較

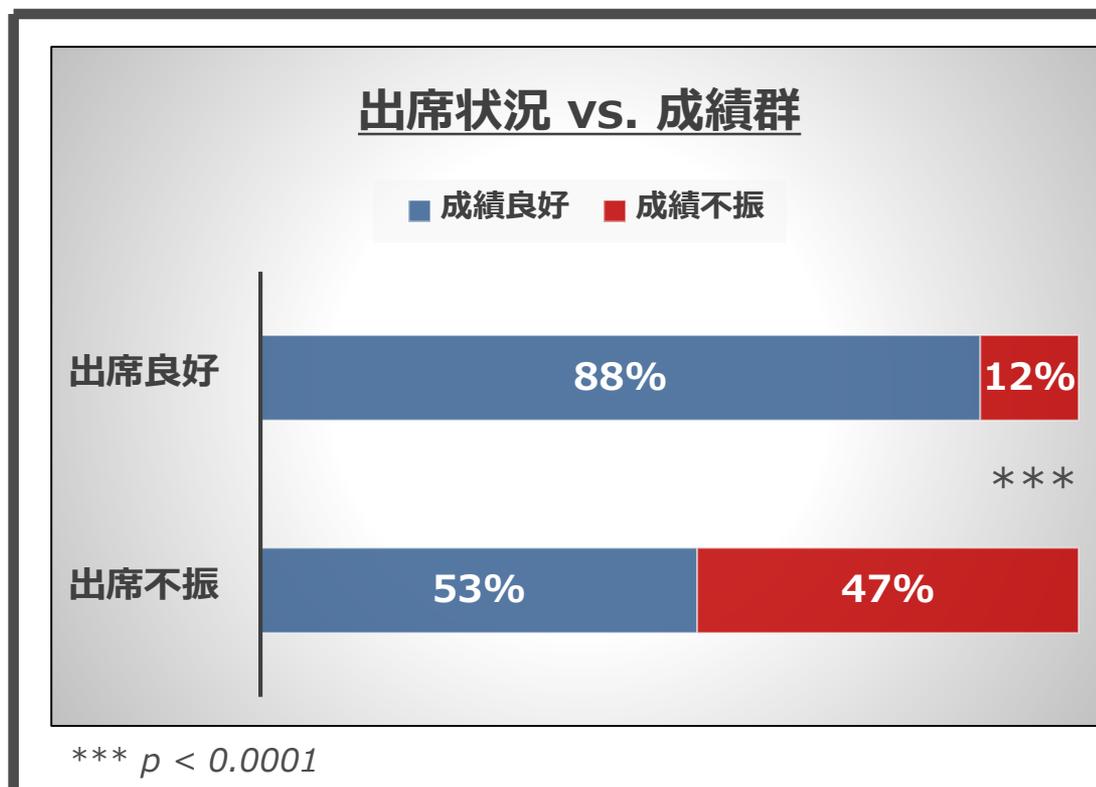


*** $p < 0.0001$

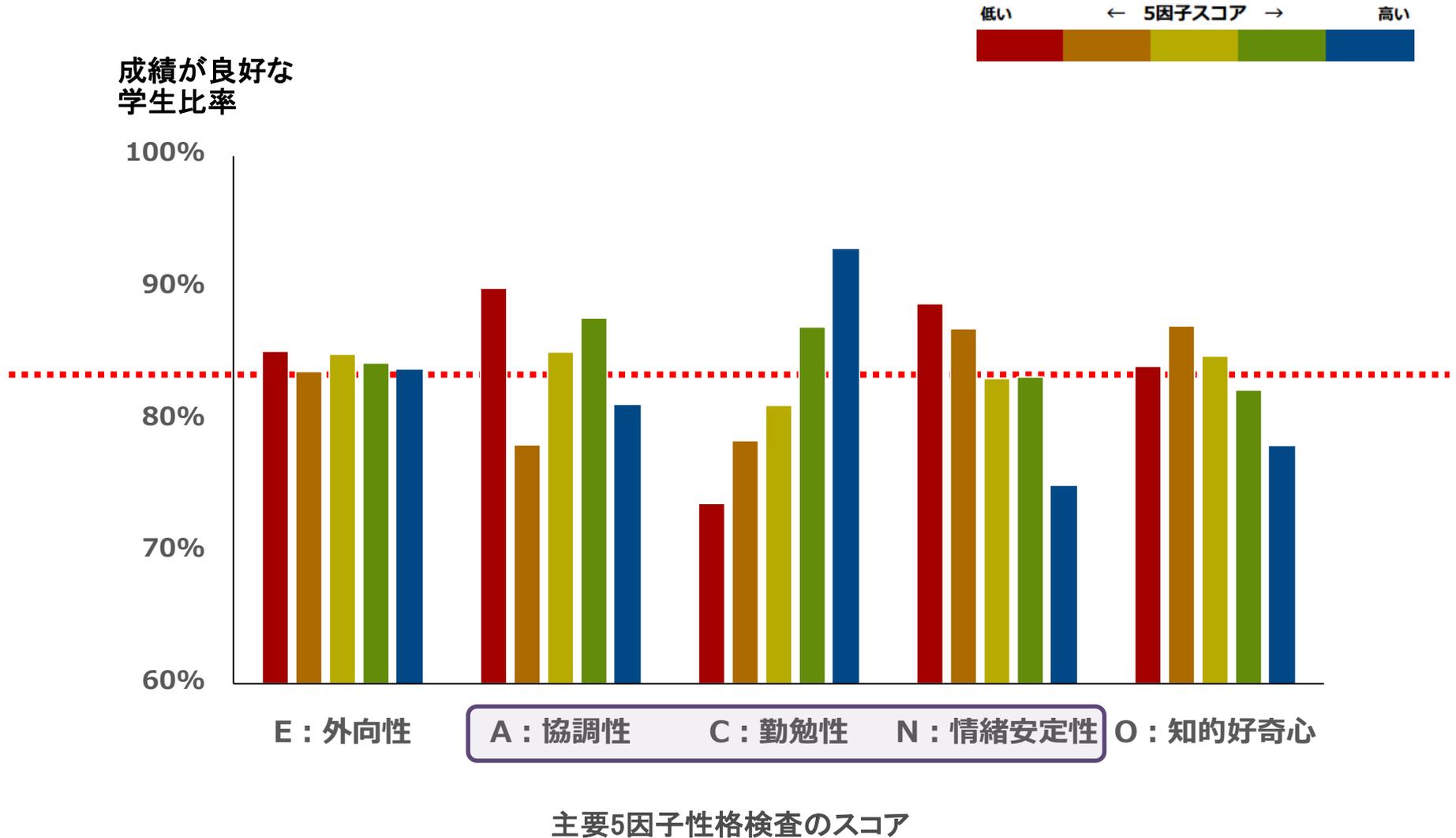
出席状況：スタートアップセミナー



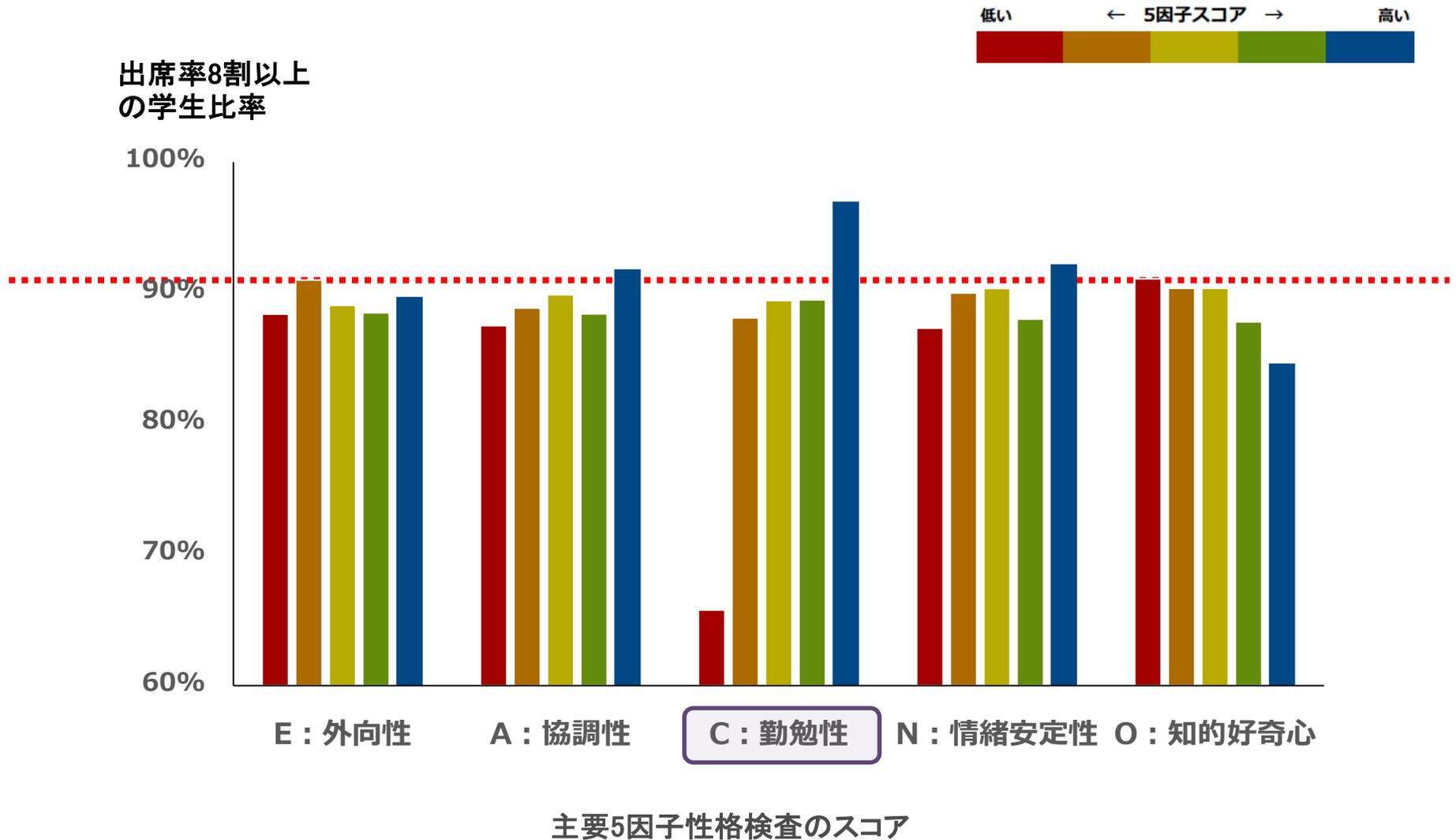
出席状況	Freq.	Percent
出席良好 (80%以上)	1,515	90.0
出席不振 (80%未満)	176	10.0
Total	1,691	100.0



5因子スコアとスタートアップセミナーの成績



5因子スコアとスタートアップセミナーの出席状況



分析結果のまとめと今後の展望

■ スタートアップセミナーの成績および出席状況と関連性があるかもしれない因子

➤ C: 勤勉性

- vs. 成績
- vs. 出席状況

➤ N: 情緒安定性

- vs. 成績

■ 今後の展望

➤ 山形大学版Early-Alert (Early-Warning) Systemsの開発

- 学生への介入プログラムを効果的に実施
- 必要な時に必要な行動特性を示す「適応」を指導